

私の留学体験記

広島県立府中高等学校 2年 佐藤 甚平 (さとう じんぺい)

留学期間 平成30年3月24日 ～ 平成30年4月8日 (16日間)

留学先 ミリラニ高校 (ホノルル, アメリカ合衆国・ハワイ州)

私が今回の短期留学で学んだことは3つあります。

1つ目は、自分の意思表示をすることの大切さです。ハワイに着いてすぐの頃は、英語で質問されたり話しかけられたりすると、焦ってしまい、上手く答えることができなかつたり、場合によっては答えることができなかつたりしました。相手が何を言っているかは分かっていても、どうやって答えればよいか分からず、答えを考えているうちに会話が終わってしまうこともありました。しかし、ジェスチャーや単語などで答えてみると、そこから会話が始まりました。一度話せたら、もっと話したいと思うようになり、少しずつ文章で答えられるようになりました。日本の高校での英語の学習でもっとライティングやスピーキングの活動に積極的に取り組み、自分の言いたいことを自由に言えるようになりたいと思いました。

2つ目は、現地の英語のスピードがとても速いことです。授業や模試で聞いていた英語も速くて聞きとれないこともありましたが、ハワイの人たちが話す英語は速いのに加えて口語的で理解するのがとても難しかったです。私が日本人だからゆっくり話してくれたり、簡単な英語で話してくれたりしてくれる人も沢山いましたが、それでも音のつながりや、熟語などがわからず、聞き直すこともありました。発音に注意して聞いたり、話したりすることが大切でした。

3つ目はハワイと日本との違いについてです。ハワイと日本はありとあらゆる面で異なっていました。車は左ハンドルで右側通行、速度の単位はマイル、長さの単位はマイルやフィート、温度は華氏を用いるなどの規則や単位の違いから、街路樹などの緑が多い、植生が亜熱帯寄りのものが多い、気温が高く日差しが強いといった自然環境の違いも数多くありました。それらの違いに気づくごとに私は驚いてばかりでした。なかでも驚いたのは、学校の違いです。ミリラニ高校の生徒はほとんどが車での送迎やスクールバスで登下校をしています。そして授業は生徒の完全移動教室制で授業スタイルはプリント学習やスピーチなどの表現活動が多いですが、そのやり方や席の配置まで先生によって様々でした。さらに、パソコンとプロジェクターを活用した効率的な授業を行っていました。

今回の留学で、私はうまく話せて嬉しかったこと、自分から進んで話しかけることのできなかつたときの後悔、親切にしてくれたホストファミリーをはじめとするハワイの人々への感謝など様々な感情があるけれど、後悔なども含めて素晴らしい体験ができました。ハワイで学んでことを英語の学習を中心として様々な分野に活かしたいと思います。

